



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年7月30日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東  
 コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)島田 和幸  
 (役職名)取締役執行役員 (氏名)石神 幸宏  
 問合せ先責任者 グループサポートセンター長 TEL 045-226-1200  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	30,799	19.0	4,487	269.2	4,543	259.9	3,160	314.9
2018年3月期第1四半期	25,889	10.2	1,215	—	1,262	—	761	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 3,089百万円(323.2%) 2018年3月期第1四半期 729百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	49.71	49.06
2018年3月期第1四半期	12.06	11.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	93,556	76,883	81.4
2018年3月期	92,380	75,597	81.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 76,159百万円 2018年3月期 74,805百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2019年3月期	—				
2019年3月期(予想)		30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期第2四半期末配当の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

2018年3月期期末配当の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	59,740	15.2	6,500	74.0	6,550	70.4	4,400	77.0	69.22
通期	122,000	11.9	12,200	44.4	12,300	42.2	8,400	35.7	132.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	65,176,600株	2018年3月期	65,176,600株
2019年3月期1Q	1,521,799株	2018年3月期	1,610,007株
2019年3月期1Q	63,583,742株	2018年3月期1Q	63,164,358株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内需要が堅調に推移したことに加え、旺盛なインバウンド需要を背景に、主力の化粧品関連事業および栄養補助食品関連事業が大幅な増収となり、全体では30,799百万円(前年同期比19.0%増)となりました。営業利益は、宅配運賃の値上げによる物流コストの上昇や、店舗契約社員の正社員化などによる人件費の増加があったものの、増収効果による売上総利益の増加などにより、4,487百万円(前年同期比269.2%増)となりました。経常利益は4,543百万円(前年同期比259.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,160百万円(前年同期比314.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 化粧品関連事業

##### 売上高

化粧品関連事業の売上高は、18,054百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

	2018年3月期 前第1四半期連結累計期間		2019年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	12,201	77.3	14,366	79.6	17.7
アテニア化粧品	2,650	16.8	2,869	15.9	8.3
boscia(ボウシヤ)	728	4.6	642	3.5	△11.8
その他	196	1.3	177	1.0	△9.9
合計	15,776	100.0	18,054	100.0	14.4

	2018年3月期 前第1四半期連結累計期間		2019年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	6,656	42.2	6,744	37.4	1.3
店舗販売	5,746	36.4	7,461	41.3	29.8
卸販売他	1,446	9.2	1,975	10.9	36.6
海外	1,927	12.2	1,872	10.4	△2.8
合計	15,776	100.0	18,054	100.0	14.4

ファンケル化粧品は、「マイルドクレンジングオイル」や基礎化粧品などの主力製品の好調に加え、戦略商材として育成を図っている「アクアセラムルージュ」、「マイルドクレンジング シャンプー」の寄与などにより、14,366百万円(前年同期比17.7%増)となりました。

アテナ化粧品は、主力の「スキんクリア クレンジング オイル」や基礎化粧品の好調などにより、2,869百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

boscia(ボウシヤ)は、前年上期の一時的な出荷集中の反動などにより、642百万円(前年同期比11.8%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は6,744百万円(前年同期比1.3%増)、店舗販売は7,461百万円(前年同期比29.8%増)、卸販売他は1,975百万円(前年同期比36.6%増)、海外は1,872百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加に加え、主力製品の売上伸長に伴う売上総利益率の改善などにより、営業利益は3,540百万円(前年同期比92.8%増)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、11,022百万円(前年同期比31.2%増)となりました。

	2018年3月期 前第1四半期連結累計期間		2019年3月期 当第1四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	3,269	38.9	3,506	31.8	7.3
店舗販売	2,249	26.8	3,862	35.0	71.7
卸販売他	2,445	29.1	3,151	28.6	28.9
海外	435	5.2	501	4.6	15.3
合計	8,399	100.0	11,022	100.0	31.2

製品面では、次期スター製品候補の「内脂サポート」や「ディープチャージ コラーゲン」、「年代別サプリメント」などが好調に推移し、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は3,506百万円(前年同期比7.3%増)、店舗販売は3,862百万円(前年同期比71.7%増)、卸販売他は3,151百万円(前年同期比28.9%増)、海外は501百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加に加え、主力製品の売上伸長に伴う売上総利益率の改善などにより、営業利益は1,443百万円(前年同期は257百万円の営業損失)となりました。

③ その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は、1,722百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

	2018年3月期 前第1四半期連結累計期間	2019年3月期 当第1四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	590	520	△12.0
青汁	633	636	0.5
その他	488	565	15.9
合計	1,712	1,722	0.6

営業損益

損益面では、発芽米事業の減収による売上総利益の減少などにより、61百万円の営業損失(前年同期は40百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて1,176百万円増加し、93,556百万円となりました。この要因は、流動資産の増加985百万円および固定資産の増加190百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加1,070百万円および原材料及び貯蔵品の増加489百万円と、現金及び預金の減少827百万円であります。固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産の増加269百万円と、無形固定資産の減少87百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて110百万円減少し、16,672百万円となりました。この要因は、流動負債の減少103百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、未払金の減少などによる流動負債「その他」の減少1,502百万円と、未払法人税等の増加531百万円および賞与引当金の増加791百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,286百万円増加し、76,883百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加3,160百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,843百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.4ポイント上昇し、81.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間における業績については、ファンケル化粧品および栄養補助食品事業の好調に加え、インバウンド需要が想定を大幅に上回って推移していることなどから、売上高および各利益を上方修正いたします。

通期では、下期もインバウンド需要が高水準に推移すると見込まれることや、国内売上も好調に推移していることから、売上高および各利益を上方修正いたします。

なお、来期以降の成長をより力強いものとするために、下期にマーケティング費用を中心に1,500百万円規模の追加投資を実施することや、業績好調に伴う賞与の増額などを業績予想に織り込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,641	35,814
受取手形及び売掛金	13,791	14,861
商品及び製品	4,109	3,987
仕掛品	21	74
原材料及び貯蔵品	4,169	4,658
その他	965	1,287
貸倒引当金	△155	△154
流動資産合計	59,543	60,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,402	27,589
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,665	△15,909
建物及び構築物（純額）	11,736	11,679
機械装置及び運搬具	8,541	8,858
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,831	△6,981
機械装置及び運搬具（純額）	1,709	1,876
工具、器具及び備品	8,204	8,483
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,088	△7,242
工具、器具及び備品（純額）	1,116	1,241
土地	11,607	11,839
リース資産	301	308
減価償却累計額及び減損損失累計額	△170	△191
リース資産（純額）	131	117
その他	302	118
有形固定資産合計	26,603	26,873
無形固定資産		
その他	2,465	2,378
無形固定資産合計	2,465	2,378
投資その他の資産		
投資有価証券	126	126
その他	3,641	3,649
投資その他の資産合計	3,768	3,776
固定資産合計	32,836	33,027
資産合計	92,380	93,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,025	3,043
未払法人税等	1,230	1,762
賞与引当金	1,343	2,134
ポイント引当金	1,576	1,632
資産除去債務	-	2
その他	8,248	6,746
流動負債合計	15,424	15,320
固定負債		
退職給付に係る負債	703	695
資産除去債務	409	401
役員賞与引当金	-	14
その他	245	240
固定負債合計	1,358	1,352
負債合計	16,782	16,672
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	54,796	56,096
自己株式	△2,338	△2,212
株主資本合計	74,959	76,384
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	89	15
退職給付に係る調整累計額	△243	△240
その他の包括利益累計額合計	△154	△225
新株予約権	791	724
純資産合計	75,597	76,883
負債純資産合計	92,380	93,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	25,889	30,799
売上原価	7,602	8,805
売上総利益	18,286	21,993
販売費及び一般管理費	17,071	17,506
営業利益	1,215	4,487
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	0	0
受取賃貸料	25	26
為替差益	2	14
雑収入	32	30
営業外収益合計	61	71
営業外費用		
固定資産賃貸費用	9	9
雑損失	5	6
営業外費用合計	14	15
経常利益	1,262	4,543
特別利益		
新株予約権戻入益	1	0
退職給付制度移行益	5	-
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除却損	2	1
減損損失	0	1
店舗閉鎖損失	0	8
関係会社株式評価損	1	-
その他	-	0
特別損失合計	5	11
税金等調整前四半期純利益	1,263	4,531
法人税、住民税及び事業税	342	1,485
法人税等調整額	159	△113
法人税等合計	501	1,371
四半期純利益	761	3,160
親会社株主に帰属する四半期純利益	761	3,160

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	761	3,160
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△39	△73
退職給付に係る調整額	7	2
その他の包括利益合計	△31	△71
四半期包括利益	729	3,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	729	3,089
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	15,776	8,399	1,712	25,889	—	25,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,776	8,399	1,712	25,889	—	25,889
セグメント利益又は損失(△)	1,836	△257	40	1,619	△403	1,215

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△403百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	18,054	11,022	1,722	30,799	—	30,799
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	18,054	11,022	1,722	30,799	—	30,799
セグメント利益又は損失(△)	3,540	1,443	△61	4,921	△434	4,487

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△434百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。